

# 銀漢亭日録

伊藤伊那男

と打ち合わせ。郵便局他廻る。十五時帰宅。柴山さんより放し飼いの地鶏の卵到来。

5月16日(土)▼「銀漢亭」閉店の報があちこちに流れ、惜しむ声をいただく。米国の青柳飛さん(米国俳句協会会長)からも。前会長のリー・ガーガ氏他のメッセージも届く。唐沢静男句集第二章稿点検。序文を数項加えて、五千字ほど書く。雨。

17日(日)▼快晴。今日は散歩、一人にて、はけを下つて野川沿いに多摩川の土手まで往復二時間ほど。青柳飛さん経由でニューオリンズの比較文学学者で茶研究者デイビッド・ラヌーさんからのメッセージも届く。NYの月野ばなさんからも労いのメール。「彩の国会」選句。十五時くらいから、庭で遅い昼食兼夕食。

18日(月)▼九時、「銀漢亭」。まほさん出勤前に寄つてくれる。「こんな日は雨が降るのです」と。十時より解体作業。「銀漢亭」の資金移動などで郵便局、銀行など。馳染みの「居酒屋なごみ」は張り紙も無く、連絡取れず。老舗の「酔の助」は「ありがとうござんしたおさらばゑ」の張り紙。「大金星」は親しかった元店長井上さん、三月末で退職したと。皆、人生激変。昼、毎日新聞の今井竜さん(「俳句てふてふ担当」と「咸亨酒店」で昼食。打ち合わせ)、「極句会」選句。

19日(火)▼雨空にて桃子に車出して貰い農家の野菜買う。おかみさんは料理、家族に任せ。岬さんからの蚕豆! 一二四代続いているという。「金星句会」選句。今日は「金星句会」選句。今日は「金星句会」選句。今日は「金星句会」選句。

20日(水)▼「春耕」への投句を忘れ、升本栄子さんより連絡あり。篆目編集長にFAX。昼、「銀漢亭」。だいぶ片付いている。業者

21日(木)▼九時半、「銀漢亭」。まほさんが来ててくれたところで、解体作業の大将に「銀漢亭」の看板を下ろして貰う。十時半、仲介業者と家主に来て貰い取り壊しの最終確認。今日の夕方で工事は終了の予定。十七年、風雪に晒された看板の清掃、取り壊しの時壊れた額を補修。武田さんの「残しておこう」との助言で。と、武田夫妻が発行所に来て、少々打ち合わせ。「ひまわり句会」選句。

22日(金)▼十時、神保町。ガスの栓ストップに立ち会う。丁度「銀漢」六月号発送日にて、久々、編集の方々と会う。大野田さんも夏の俳句大会の差込用紙を持ってきてくれる。太田勝彦さんから美瑛のアスパラガス到来。

23日(土)▼孫二人と散歩。農家の野菜を買う。「武藏野探勝句会」「雛句会」の選句。角川「俳句」八月号「コロナ時代の俳人たち」二頁分書く。

24日(日)▼「銀漢句会」の選句と短文をてる緒さんに送る。散歩。今日は喜多見駅周辺。駅前の教会跡……あつ、村田脩先生の葬儀で……。ただし木造の教会は無し。角さんとメールで確認すると教会は成城に移転したと。もう十一年近く前だ。午後、次女、杏一家来宅。庭でバーベキュー・パーティー。杏さん明日で四十歳。

25日(月)▼散歩。農家の野菜買ったあと、もう一度散歩。喜多見、狛江方面。今日は一万六千歩で、今まで一番歩いたか。須崎武雄さんより青山椒到来。茹でて保存。

26日(火)▼祖師谷大蔵方面散歩。「オオゼキ」で買い物。七月号

27日(水)▼十二時、水道橋駅に、大和、禪次、秋葉男、井蛙、志水さんと待ち合わせ。周辺の空き事務所、三箇所ほど不動産会社の案内を受ける。広い発行所に移るか模索中。発行所に戻つて一時間ほど打ち合わせ。こしだまほさんに日録送る。

28日(木)▼孫と散歩。七月号の選句追い込み。「春星句会」選句。夕方から成城仲間のN氏邸。三家族で食事会。バーベキュー。私は三品ほど用意。二十一時ごろ退出するが、家族は午前一時ごろまでいたと。「NHK俳句」より、私と堀切君の師弟コラボの執筆打診あり。

29日(金)▼散歩。農家の野菜買う。快晴。久し振りにやや二日酔い。どうかと誘いあり。

30日(土)▼「童夢句会」選句。今日は京王線仙川駅まで散歩。七月号の選句稿、大溝、朽木、花果さんへ郵送。夕食は早い時間から庭で。

31日(日)▼同人集、会員集の選評書き上げ、朽木、大溝さんに郵送。散歩。あちこち歩いてまた仙川駅。帰宅直後に夕立。あちこち紫陽花が色を深めつつあり。

6月1日(月)▼「彗星集」選句書き、美紗さんに投函。これで七月号の執筆、選句など全部終了。銀行、郵便局他。銀漢亭の保證金返却ありこれにて銀漢亭の業務一切終了。坂口さんより茂木の枇杷。